



薬師寺小だより

第5号
令和3年9月7日
下野市立薬師寺小学校
校長 海老原 忠

教育目標 『ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む』
・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

緊急事態宣言の中、学校再開

2年ぶりの長い夏休みを終え、子供たちが学校に帰ってきました。やはり子供たちの元気な姿があり、様々な声が聞こえてきてこそ学校ですね。この夏休みは、外出自粛によりいつものような夏ではなかったと思いますが、それぞれに楽しく過ごしていたようです。

現在、緊急事態宣言下では市内統一して4時間で下校しているため、通常の授業ができてはおりませんが、その中でも子供たちの学びをできる限り止めないよう職員一同頑張っているところです。今後も行事の延期や中止、参観者の制限等、保護者の皆様、地域の皆様には、御協力と御理解をいただきたいことが多々あると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

閉校までのカウントダウンは9月6日現在200日となってしまいました。残された日々が子供たちにとって充実した日々となるよう努力して参ります。

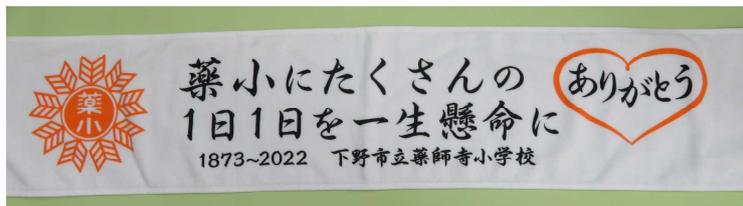


《薬小 おもいで花火》

7月30日実施予定でPTAの方々と共に準備してきた薬小祭でしたが、コロナウイルスの蔓延状況を鑑み延期とさせていただきました。しかし花火だけでも実施できればと31日に花火の打ち上げを行いました。御覧いただけたでしょうか。薬師寺小最後の夏の、良い思い出になればと思います。



《閉校 おもいでグッズ》



子供たちの思い出となるよう、周年基金等を活用させていただき、Tシャツやタオル、缶バッジを作成しました。

自分の描いた絵が缶バッジになり、子供たちがつくった合い言葉をタオルにデザインしました。



Tシャツは全員おそろいで、閉校に関わる行事の時に着る予定です。

《たくさんの夏休みの作品》

9月1日、夏休みを終えた子供たちからたくさんの作品が提出されました。作文や読書感想文、理科研究、絵画やポスター、工作などの力作が勢揃いです。学習ノート関係の提出もありました。必修課題の他にも学習や研究に励んだ子供たちもおり、素晴らしいですね。



《学校のコロナウイルス感染防止対策》

緊急事態宣言の中、学校が再開されました。学校としては可能な限り感染防止対策に取り組みながら、安全な環境を維持できるよう努めております。換気や放課後の消毒作業はこれまで通り継続しておりますし、新たにオートディスペンサーやCO2モニターを全学級に配置いたしました。また子供たちにも、マスク着用（鼻だしマスク、顎マスクはNG）や手洗いの徹底、必要な場面での手指消毒などを継続して指導しております。どうぞ御家庭におかれましても、これまで以上に高い意識をもって子供たちに声をかけたり本人や家族の体調不良時には登校を控えさせるなど、御協力いただけますようお願いいたします。



「いただきます」の号令があるまでマスクは外しません



オートディスペンサー
手を出すと消毒液が自動噴射されます



CO2モニター

換気の状態が悪いと色が
変わり警告音が鳴ります

《学校行事等の延期や中止について》

コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、9/7時点での行事等の対応についてお知らせいたします。

行事名	対応	行事等	対応
薬小祭	7/30 → 10/30で調整中	6年児童表彰式	10/20 → 予定通り(保護者1名出席可)
4年宿泊学習	9/16・17 → 11/18・19	運動会	10/30午前実施(午後薬小祭：調整中)
6年修学旅行	10/13・14 → 11/29・30 県内	市陸上記録会	中止
1年遠足	10/15 → 予定通り	市小中音楽祭	中止

校長室の窓から

夏休み中のことでしたが、暑い日に外で一人で遊んでいた本校児童の様子に違和感を感じた南河内中学生が、その児童に声をかけ小学校まで連れてきてくれました。また学校が始まってからは、別の中学生が、通学路に落ちていた本校児童の校帽を拾い小学校に届けてくれました。本校の子供たちは、地域の大人の皆様だけでなく、卒業していった中学生にも温かく見守られているんだなあと、改めて感じました。同時に、卒業生の成長をとてもうれしく感じました。